

参加費
無料

手話通訳
要約筆記あり

みんなで考えよう！
特別支援教育と
インクルーシブ教育について
(2026)

豊中市と芦屋市の支援教育の歴史と現状についてシンポジウムを
開催し、支援学級と通常学級の子供たちが一緒に学ぶ独自の教育施策
に感銘を受けました。インクルーシブ教育は障害のある人もない人も
共に生きていく『共生社会』の礎という意味を共に考えましょう。

8/8 2026
土

13:00-16:00 (受付12時半)

場所 あかし保健所
1階 多目的ホール

☎ 078-936-7915 明石市大久保町ゆりのき通り



問合せ先
明石市障害当事者等団体連絡協議会 (通称ASK)
☎: 090-4280-8104 (南部)
MAIL: ask614@snow.ocn.ne.jp

13:30 ~ 14:30

第1部 世界のインクルーシブ教育に学ぶ
～何故インクルーシブ教育に転換しなければならないのか～

講師 いちき れいこ
一木 玲子氏
(東洋大学 人間科学総合研究所 客員研究員)

14:40 ~ 16:00 パネルディスカッション

第2部 これからの課題
～インクルーシブ教育への取り組みと今後の行程は～

【コーディネーター】 一木 玲子氏 東洋大学 客員研究員

パネリスト

尾上 浩二氏 DPI日本会議副議長
和田 徳幸氏 明石市教育委員会事務局学校教育課課長
山田 賢氏 明石市市民生活局市民協働推進室長
四方 成之氏 明石市障害当事者等団体連絡協議会会長

後援: 明石市、明石市教育委員会、明石市社会福祉協議会